



平成29年10月26日

「わが村は美しくー北海道」運動 表彰式を開催！ ～第8回コンクール 大賞2団体、大賞審査委員特別賞3団体～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」という。）第8回コンクールの表彰式を行います。

わが村運動では、第8回コンクールの優秀賞14団体の中から、先導性・モデル性の高い活動を行う2団体に大賞（北海道開発局長表彰）及び今後とも継続した活動が期待される3団体に大賞審査委員特別賞（大賞審査委員長表彰）を決定し、9月15日に発表しました。

つきましては、下記のとおり表彰式を開催しますのでお知らせします。

なお、表彰式では、大賞審査委員会委員長からの講評、大賞表彰団体からの活動報告及び有識者による景観に関する特別講演があります。

記

日 時： 平成29年10月31日（火） 16:00～17:30
場 所： 北海道立道民活動センター（かでの2・7）8階820研修室
（札幌市中央区北2条西7丁目）

※ 第8回コンクールの表彰団体及び表彰式の詳細は別紙のとおりです。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
農業水産部 農業振興課 課長補佐 伊藤 克人（内線5683）
農業水産部 農業振興課 開発専門職 中井 大介（内線5680）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



大賞 (北海道開発局長表彰)

北海道幌加内高等学校

【幌加内町】

高校生が「幌加内のそば」で地域活性化活動



幌加内町

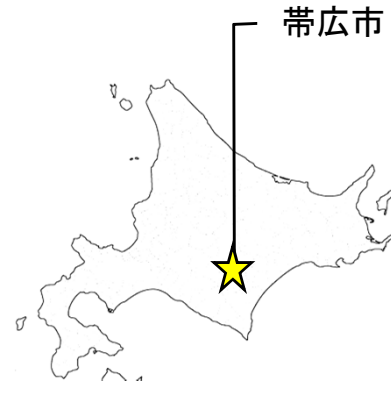


地域特産物の「そば」を全国で唯一の必修科目とし、そば打ち初段位取得を卒業要件とするユニークな取組など、町特産の「そば」を活用した学びを通して、人づくりと地域づくりをうまく結びつけた活動は、地域活動モデルとして評価。

十勝パンを創る会

【帯広市】

十勝産小麦の付加価値向上を目指して



帯広市



「十勝パン」ブランドの確立を目指して十勝管内の14名のパン職人が正会員となり商品の開発に取り組み、東京オリンピックが開催される2020年には首都圏で十勝パンの販売を目指すなど、十勝のブランド力向上や観光振興にも期待。

大賞審査委員特別賞 (大賞審査委員長表彰)

WEAVE(ウィーブ)

【由仁町】

若い女性農業者の活躍

若手女性農業者が楽しく
学んで仲間づくり



特別賞

寿都地域マリビジョン協議会

【寿都町】

漁村交流に取り組む

目指せ! 『寿都・後志
ツーリズム交流文化圏』
の形成



特別賞

うたのぼり・癒しの森「音夢路」

【枝幸町】

過疎地域の森林利活用に取り組む

森の癒し効果に着目した森林
セラピー



特別賞

「わが村は美しくー北海道」運動 第8回コンクール 表彰式次第

日時：平成29年10月31日（火）
16：00～17：30

場所：北海道立道民活動センター（かでの2・7）
8階 820研修室
（札幌市中央区北2条西7丁目）

主催：北海道開発局

共催：北海道、NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク

- | | | | |
|----|----------|------|---|
| 1 | 開 | 会 | |
| 2 | 開 | 会 | 挨拶 北海道開発局 農業水産部長 圓山 満久 |
| 3 | 第8回コンクール | 経過報告 | |
| 4 | 表彰状 | 授与 | 大 賞（北海道開発局長表彰）・・・ 2団体
大賞審査委員特別賞（大賞審査委員長表彰）・・・ 3団体 |
| 5 | 挨 | 拶 | 北海道開発局長 和泉 晶裕 |
| 6 | 祝 | 辞 | 国土交通省 北海道局長 田村 秀夫 様
（代理：大臣官房審議官 柳屋 勝彦 様）
北海道知事 高橋 はるみ 様
（代理：農政部活性化支援担当局長 西崎 高 様） |
| 7 | 講 | 評 | 大賞審査委員会委員長 飯澤 理一郎 様 |
| 8 | 活 | 動 | 報告 大賞表彰団体代表 2団体 |
| 9 | 特 | 別 | 講演 中井 和子 様（中井景観デザイン研究室 代表）
北海道田園委員会委員 |
| 10 | 閉 | 会 | |
| 11 | 記 | 念 | 撮 影 |

○これまでのコンクール参加団体数は、複数応募を除き779団体、延べ応募数では、1,111団体。
 また、受賞団体数は、延べ215団体。
 (3部門制開催の第5回までは金銀銅75、部門統合した第6回以降145) (表1)
 ○参加市町村は、全道の93%にあたる166市町村。(グラフ1、図1)

○コンクール応募対象

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む次のような活動を対象とする。

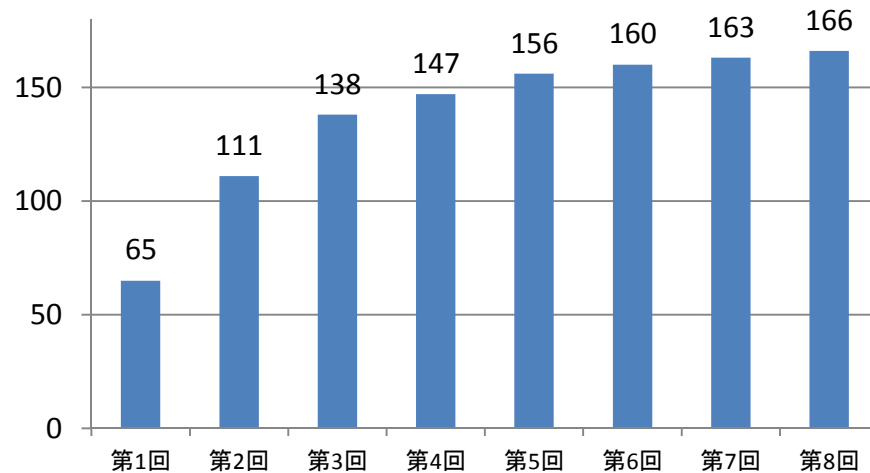
目的や内容に「生産と生活に根ざした景観の形成」「地域で生産される農林水産物を活かした特産物づくり」「地域内交流の活発化や都市住民等地域外との交流」の要素のいずれかを含み、これらを活かして地域の活性化に貢献している活動。

○応募資格

住民が主体となって参加している団体の活動であること(任意団体、NPO法人、協同組合、商工会議所、商工会、学校等を含み、企業単独、個人単独の活動を除く。但し、企業、個人単独であってもその活動が地域の他の団体と連携した活動であって、地域との繋がりが明確に認められる場合は対象とする)

表1 これまでの参加団体数及び受賞団体数

		第1回 H13-14	第2回 H15-16	第3回 H17-18	第4回 H19-20	第5回 H21-22	第6回 H24-25	第7回 H26-27	第8回 H28-29	計		
参加団体数 (重複応募を除いた団体数)		114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	1,111 (779)		
景観	金	-	-	-	-	-	大賞 3	大賞 3	大賞 2			
	銀	4	-	1	-	1					特別賞 2	
	銅	-	2	1	1	1						
特産物	金	2	2	2	2	2	優秀賞 14	優秀賞 14	優秀賞 14			
	銀	2	2	2	1	2					奨励賞 34	奨励賞 30
	銅	2	3	2	3	3						
交流	金	2	1	1	1	2	奨励賞 34	奨励賞 30	奨励賞 26			
	銀	2	3	3	2	2						
	銅	3	3	2	3	2						



グラフ1 参加市町村数 (累積)

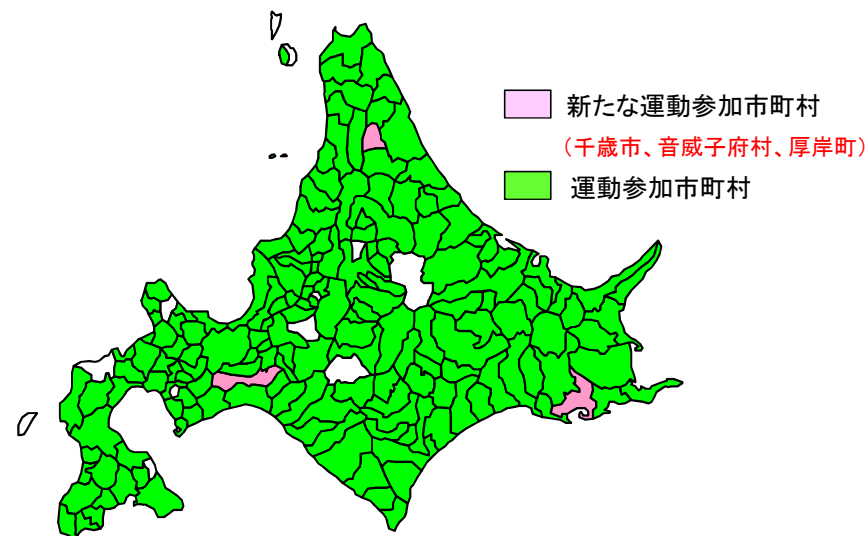


図1 運動参加市町村図